

米国カリフォルニア州 核果類の見通しは良好

[FreshPlaza](#) 2025年3月18日

「風味を追求して育てた白肉のモモとネクタリン」

カリフォルニア州の今年の核果類の見通しは良好である。ファミリーツリー農場のライアン・ハワード氏は、「ほとんどの木はすでに開花しており、昨年とは対照的に今年の開花は均一であった」と言い、「これは非常に良い兆候だが、今後まだ多くの天候の変化があり、状況はまだ流動的である」と付け加えた(以下「」は同氏の話)。カリフォルニア州では最近雨が多いが、この段階では雨が様々な種類の核果類に影響を与えるにはまだ早い。「収穫が近づくほど、雨や降雹の懸念が大きくなる。」

カリフォルニア州セントラルバレーにある同農場の核果類の収穫は、5月1日頃にアンズ、果皮の赤いアンズ及びモモから始まる。ネクタリンの収穫はその後すぐに始まり、スモモが続く。プラムコット(スモモとアンズの交配種)やドーナツピーチ(蟠桃)など他の特産品種の収穫は、5月下旬または6月の第1週に始まる。その時点から9月末まで、カリフォルニア州は核果類を途切れることなく供給する。

白い果肉

他の大部分の核果類の生産者や出荷業者とは異なり、同農場は白い果肉のモモとネクタリンに特化している。同社の黄色い果肉の果実の出荷量は増加しているが、依然として白い果肉の果実が支配的である。「2001年に操業して以来、我々の使命は常に世界で最も風味豊かな果実を出荷することであり、白い果肉の核果類は我々がその使命を果たすのを助けてくれる。我々は、栽培するすべての果実において、風味が良く、糖度が高いものを求めており、それによって他の生産者との差別化を図っている。」

垂直統合された家族経営

同農場は、24年前にジャクソン一家によって設立され、現在も家族経営で、2代目と3代目も事業に携わっている。「我々は当初、世界中から集めた様々な核果類の品種を試してみることから始めた。その結果、白い果肉の品種と特産品種がほかのものよりも優れた成績を収めた。」長年の間に、黄色い果肉の品種が徐々に追加されてきた。水資源の課題や継続的な労働力の問題により、近年カリフォルニア州の核果類の栽培面積が減少している。「生産者と出荷業者の数が減少し、核果類を提供する人が少なくなったため、黄色い果肉の果実を含む完全な品揃えを提供することが重要だと感じている。」

同社は現在、カリフォルニア州リードリーに独自の研究開発施設を持ち、イスラエル、フランス、スペイン、カリフォルニア州など、世界中の約30の異なる育種プログラムの品種がテストされている。同社は完全に垂直統合されており、販売するほぼすべての果実を栽培、梱包、出荷している。

消費者教育

長年にわたり、ハワード氏は白い果肉の品種と特産品種の需要が増加するのを目の当たりにしてきた。「その理由は風味にあると考えている。我々の小売パートナーは、我々の核果類が提供する一貫した食体験のために弊社にやって来る。パーリシヤスホワイトネクタリンに代表される弊社の白い果肉のモモとネクタリンのラインナップは、他のサプライヤーとは一線を画している。(パーリシヤスホワイトネクタリンは他の品種と同じ甘い風味があり、果肉は柔らかくジューシーで花のような香りがする。果皮は赤みがあったクリーム色で、果肉は雪のように白い。(「パーリシヤス」はパール+デリシヤスから作った造語のブランド名))

年齢階層別では、ハワード氏は若年層からの関心が高まっていることに注目している。「彼らは必ずしも多くの品種を知っているわけではないが、新しい果実を探し、試すことに興味を持っている。我々はソーシャルメディアで消費者を教育しているが、小売パートナーと協力して店内での販促を行い、果実を試食してもらうことにも取り組んでいる。一度試してもらえば、常連客になると思う。」(以下、イベントへの出展について省略)

執筆者: マリーケ・ヘムス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)